

長野県埋蔵文化財ニュース

No. 24 1988.

(財) 長野県埋蔵文化財センター

〒388 長野市篠ノ井布施高田字佃963-4
TEL 0262-93-5926



縄文時代後期の人骨190体余を出土した

明科町 北村 遺 跡

当センターが62年度発掘調査した北村遺跡は、当初の平安時代集落址との見方はほぼ当たったものの、この古代面より更に数m下層に、縄文時代中期末、後期、弥生時代後期の文化層が確認された。とりわけ縄文後期前半を主とした墓壙群は400基をこえ、人骨190体余が検出され、考古学・人類学上貴重な発見となった。



ついに200件をこえた

昭和62年度県内発掘について

62年度の発掘数はついに大台をこえ、205件となった。発掘が届出制となった昭和24年以来、200件をこえたのは初めてであり、その大半が開発に伴う緊急発掘（193件・94.1%）で、学術調査は12件（5.9%）にすぎない。大都市周辺に比べればまだ少ないといえ、全国的にみても上位に入ろう。

緊急発掘の原因は以下の通りである。

建物 40（学校、工場、団地、個人住宅等）

道路 60（高速道、県市町村道関係を含む）

は場 57（農業関連、区画整理等を含む）

試掘 24（分布、確認調査を含む）

他 24（鉄塔・水道・公園等）

建物・道路・は場関係といった比較的面積の広い緊急発掘が80%を占める点、まだ県内も開発が進行中であることがよくわかる。

次に地域別の状況をみてみよう。

東信－42、北信－38、中信－46、南信－79

南信が相変わらず一番多いのは、遺跡分布密度が最高地域であり、かつ範囲が広いので当然としても、北信、東信、中信がすべて増加している点が指摘できる。また、こうした傾向とともに一地域の発掘が集中する傾向がある点も注目される。

佐久市－27、上郷町－22、松本市－16、長野市－15、辰野町－12、更埴市－10（以上で約50%）

佐久市の27件中には県埋文センターが実施する11件が含まれているが、いづれにしろ3年間10件以上の発掘調査を行うのは大変であろう。これらの相当数は補助金制度による調査のため、年度内に報告書発刊を義務づけられているのでその整理作業も含めて相当ハードな内容といえよう。

時代別の詳細は、複合遺跡が多くて細かく分類できないが、概括的にみれば、縄文・平安両時代が圧倒的に多く、県内遺跡分布と比例している。旧石器時代が諏訪市ジャコツバラほか2ヶ所、うち1ヶ所の長門町鷹山は学術調査で、この種の発掘が相変わらず少ないといえる。古墳自体の発掘が少ないのは当然であるが、最近ようやく古墳時代集落址の調査例が増加している点は注目してよい。一方、研究面で遅れていた中・近世遺跡のうち集落址関係の調査例がわずかであるが増加してその成果がようやく評価されられるようになった点は喜ばしい傾向といえよう。

昭和62年度長野県内埋蔵

No.	遺 跡 名	所 在 地
1	※ 金 瀬 1	飯山市大字寿字江下825
2	田草川尻	" " 蓮字北原213-1
3	有 尾	" " 飯山3567
4	横田遺跡群富士宮遺跡	長野市篠ノ井横田富士宮
5	堀崎遺跡群（角間）	" " 大字塩崎字角間
6	浅川遺跡群 浅川端	" 吉田二丁目289-2 他
7	石川条里 （善司坊）	" 篠ノ井大字ニッ柳字方田
8	石川条里 （ニッ柳区）	" 篠ノ井大字ニッ柳字善司坊・大当
9	東番場	" 大字栗田字東番場532、533
10	平久保 条 里	" 大字塩崎字平久保
11	小柴見	" 大字平柴字夏目原162-12他
12	宮 崎	" 若穂保科上和田
13	石川条里 （塩崎山崎地区）	" 篠ノ井大字塩崎字山崎
14	関崎	" 若穂大字川田字古町上2682～2690-1
15	五輪堂	更埴市大字屋代2104
16	北中原	" 屋代北中原
17	屋代遺跡群 更埴条里水田址	" 雨宮・屋代
18	森將軍塚古墳	" 大字森字大穴山3122-28他
19	城ノ内	" 大字屋代字大境1326
20	馬 口	" 大字屋代1000
21	八幡遺跡群 宮川・峯遺跡	" 大字八幡字宮川・峯
22	豊原古墳	上田市緑ヶ丘二丁目7～13
23	小泉条理水田跡	" 大字小泉字桜町～字藤之木
24	琵琶塚	" 大字小泉琵琶塚～字町裏
25	沢口上	" 大字芳田
28	鍛冶屋	小県郡東部町大字和字鍛冶屋
27	成 立	" 大字滋野字乙戌立
28	虚空蔵東	" 丸子町大字東内字裏4157-ロ～4160
29	寺開土	" 大字腰越340-4
30	中 原	小諸市大字市字中原824-3 他

文化財発掘調査要覧 (その1)

調査の概要らんの略号〔時代〕旧・旧石器時代、縄・縄文時代…略…、中・中世、近・近世〔遺構〕住・住居址、建・竪立柱建物址、土・土壌、ビー・ビット、井・井戸〔遺物〕() 内は箱数、〈 〉 内は袋数を示す。

期 間	目 的	主 体 者	担 当 者	調 査 の 概 要			
				時 代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	所 見
62.5.11 62.9.5 62.6.25	は 場	市 教 委	高 橋 桂	弥・中	弥一土、中一建4	縄(10)中(木器)(10)	木簡出土と中世村落
9.5 7.4	店 舗	"	"	平	平一建1	平(1)	
9.5 4.14	建 物	"	"	縄・古・平～近	古～近一建20、井6、溝6	古～近(13)、(木器)(2)	古～近世の集落
4.21 4.22	鉄 塔	"	矢 口 忠 良	平	平一住5、井5、不明一2	平(2)	
6.4 6.8	道 路	"	"	弥、奈～中	住20、井13、溝4	弥～中(10)	
7.13 7.6	団 地	"	"	縄～平	住一縄前1、弥中3、弥後1、古1、奈3、平2他	縄(2)弥(1)古(0.5)奈(2)平(0.5)	
7.13 7.6	は 場	"	"	平	平一水田址	なし	
11.20 10.5	は 場	"	"	平	平一水田面と畦畔	なし	平安水田東へ広がる。
10.12 10.8	建 物	"	"	古・平	古一住1、土3 平一住1、土13	古(0.5)、平(0.5)	
10.9 10.24	は 場	"	"	平	平一水田面10ヶ所	古(1)、平(少)	
11.5 10.26	道 路	"	"	中	中一空堀	中世石臼2点	
12.14 11.4	土 地 改	"	"	縄	縄後一石棺墓8、土壌墓10 縄晩一集石、敷石	縄一土、石器、骨角器、土、石製品、人・獣骨など	縄文後晩期大遺跡
11.17 62.12.14	は 場	"	"	弥～近	平一水田面、畦畔、水路	平一土器、種子、田下駄など	牛の足跡検出
63.1.7 62.4.6	道 路	"	"	弥・奈	住一弥5、平3 他平溝4、土13	弥(2)、石斧2点 平(0.5)	
4.18 5.21	建 物	"	佐 藤 信 之	古～平	住一古4、奈・平1	古～平(5)	
6.13 7.6	団 地	"	"	平	平一畦畔3	平(2)	
12.9 7.31	分布調査	"	"	弥～平	住一弥3、古～平20 他平一井3	弥(4)古～平(16) 獣骨(0.5)	
9.4 9.14	保存整備	"	岩 崎 卓 也	古	円墳(9・10号)(6C初)	古一金属器30点、玉5点、土器(2)	部分調査、盗掘あり
9.22 10.12	鉄 塔	"	佐 藤 信 之	古～平	溝1、土壌墓1	古～平(3)、平安人骨1体	
11.16 11.26	プ ー ル	"	"	平	平一水田址	平(2)	
11.26 11.26	道路用地掘	"	"	古～平	落込み2	古～平(3)	
62.3.25 5.1	下 水 道	市 教 委	川 上 元	古	横穴式古墳1	直刀5、人骨(3)	
7.6 11.9	は 場	"	塩 入 秀 敏	平	平一溝	平(1)	条理水田米検出
7.6 11.8	は 場	"	"	弥・古・平	住一弥24、古43、平4、不明70、他土20、ビット50	弥～平(150) 鉄・銅、石器品など	弥～古の大集落址
11.10 11.28	は 場	"	五十嵐 幹雄	縄・奈・平	縄一土1、奈一住1、建一4	縄・奈・平(1)	
5.20 11.9	は 場	町 教 委	塩 入 秀 敏 堀 田 雄 三	縄～近	住一縄7、弥3、古2、他土など	縄～近(9)	縄文前期遺物を埋めた土壌敷あり
11.7 12.10	道 路	"	塩 入 秀 敏	縄	縄一住22(敷石)、土79	縄(40)	中期後半の大集落 保存良好
7.26 7.30	は 場	"	関 竹 内 隆 一 徳	縄・中～近	柱穴群、土壌、土壌墓	縄～中・近(3) 漆器・貨銭などあり	骨蔵器に転用した内耳土器あり
10.10 10.11	道 路	"	"	縄・中～近	なし	縄～中・近(1) 漆器・貨銭などあり	古瀬戸四耳壺など洗出 各種工事で破壊多し
10.15 12.9	学校建設	市 教 委	花 岡 弘	縄・古～奈	住一古8、奈1	古～奈(8)	

No.	遺 跡 名	所 在 地	期 間	目 的 因	主 体 者	担 当 者	調 査 の 概 要
							時 代
31	鉦師屋遺跡群 根岸遺跡	北佐久郡御代田町大字御代田字根岸	4.3 6.30 7.19	ほ 場	町 教 委	堤 隆	平・近
32	矢嶋城跡	" 浅科村大字矢島字城平624、625-1	9.6 9.1	学 術	村 教 委	上代 純一	中
33	栗毛坂遺跡群 中曾根遺跡	佐久市大字岩村田字中曾根10-1他	10.28 9.11	建 物	市 教 委	高村 博文	古・奈〜平
34	"	" 大字塚原字藤塚1548-3他	10.28 4.13	道 路 用 地 掘 試	"	"	弥・古
38	いっ づ	大町市大字平12997-1他	9.8 11.25	ほ 場	"	篠崎 健一郎	縄・平〜近
36	すずり いわ 硯 岩	" 大字常盤西山131-2	11.25	ほ 場 試 掘	"	島田 哲男	縄・弥・平
37	しみずごうくちあと 清水郷倉跡	" 大字常盤清水1734-2	11.25	ほ 場 試 掘	"	島田 哲男	近
38	清水氏居館跡	" 356他	11.25 11.26	"	"	島田 哲男	中〜近
39	道海戸	" 1814他	11.26 11.27	"	"	"	平〜近
40	小海戸	" 2779他	11.27	"	"	"	平〜中
41	藤 塚	南安曇郡穂高町大字穂高字白金2404-5〜2451	7.3 9.2	建 物	町 教 委	山下 泰永	古
42	上ノ山窯跡 76-10	" 豊科町大字田沢8071他	4.1 11.27	ゴルフ 場	町 調 査 会	田辺 昭三	平
43	葛蒲平窯跡 76-7	南安曇郡豊科町大字田沢8071他	62.4.1 62.11.27	ゴルフ 場	町 調 査 会	田辺 昭三	平
44	島立条理遺跡 (県道)	松本市大字島立2880イ号他	6.1 5.30 5.6	道 路	市 教	神沢昌二郎	奈〜中
45	赤木山	" 大字寿小赤2078・2080	6.25 5.26	開 発	"	"	縄・平〜中
46	赤木南城	" 1913	6.25 6.11	"	"	"	中
47	杵 坂	" 原1085-2	6.23 6.25	学 校 改 築	"	"	不明
48	ち ち とうきと 千鹿頭北	" 大字里山辺5085	8.31 7.17	ほ 場	"	"	古・平
49	北 栗	" 島立3298	8.12 8.7	グ ラ ン ド 造 成	"	"	古・平〜中
50	林山腰	" 里山辺5643	9.30 8.17	ほ 場	"	"	縄・平
51	やこう ばた 向 畑	" 中山4928他	12.23 8.27	ほ 場	"	"	縄〜古・近
52	向 畑 (県道)	" 大字中山4958他	12.25 9.1	道 路	"	"	弥・古・近
53	島立条理的遺構(田)	" 大字島立1916他	63.1.9 62.9.7	ほ 場	"	"	奈〜中
54	県 町	" 県2-1-1	10.14 10.1	学 校 改 築	"	"	弥〜平
55	宮の下	" 内田1971	10.21 10.5	ほ 場	"	"	縄・中
56	大 村	" 浅間温泉430-1	10.19 11.27	公 園	"	"	平
57	北 栗	" 大字島立4012他	63.1.13 4.14	ほ 場	"	"	縄・奈〜平
58	お 手	塩尻市大字広丘高出1536	6.8 4.13	国 道	"	伊東 直登	弥・奈〜中
59	和 手	" 1538	4.24 5.9	市 道	"	鳥羽 嘉彦	弥・平
60	葛蒲沢窯跡	" 大字片丘新林9,683	5.20 6.29	工 業 団 地	"	小林 康男	平
61	竹ノ花	" 大字片丘北能井	8.5 8.24	土 地 改	"	鳥羽 嘉彦	縄〜弥・中
62	ヨ ケ	" 大字長畝623-5他	10.2 8.25	国 道	"	伊東 直登	縄・平
63	とま ぐち 樋 口	" 717-1他	9.19	国 道	"	小林 康男	縄・平

調 査 の 概 要		
主 な 遺 構	主 な 遺 物	所 見
住-12、建28、溝4	平・近(50)	
柱穴約250ヶ		検討中
	古-土師器	
縄-住12、石棺墓8 配石、集石	縄(151)	
古-住30、建5	古(15)	穂高町古墳と関連
平-窯17、住25	平(700)	
平-住1、焼土壇	平(20)	
奈・平-住14、奈へ中ビ 215、(建2)他溝4	奈・平(3)	調査区南部に遺構集中、 北限をつかむ。
平-住17、建2、他ビッ ト溝など	縄、平へ中(12) 鐙帯あり	平へ中の集落址と中世 墓址
中-山城(三の丸や空堀)	中(1)線刻石、石臼、 古銭、米炭灰化物	空堀完掘
不-土4		
古-住53、建6、溝3他 平-住13、溝1他ビ200	古へ平(50)	4・7・9~11cの3 時期 7cが中心
古-住4、建5、土2 平-住3、建4、他土な ど	古・平・中(8)	
縄-住4、平-住2他	縄・平(40)	縄文中期初頭の良好な 遺跡 後期柄杓敷石址も検出
縄・弥・古-住27 古墳1、他土580	縄へ古・近(16) 石器30点、鉄製品10点他	古墳前期の大集落址 縄文や近世の墓域
弥へ古-住20 円墳1、土410など	弥・古(16) 石器30点、鉄製品ほか25 点	上に同じ
住24、建5、溝3、ビッ ト436、柱6など	奈へ中(8)青銅製品8、 炭化米、炭化材など	三の宮遺跡の西限 中世屋敷址の好例
住一弥2、古4、奈良21 集石4、ビット60など	弥へ平(20)	県町遺跡の弥生中期の 東北限
土、ビット、RMなど	中(1)古銭3点	
平-住1、土1	平(4)青銅品1	
奈・平-住3、堅穴3、 ビット134など	縄・奈・平(2)炭化材	奈良井川西側段丘形成 過程がわかる。
弥一周墓1、住一奈3、 平22、中-建3他	奈へ平(多)刀子、砥石	弥生へ中世の大集落?
弥一周墓2、平-住11	縄、弥、平(3)紡錘平 地	縄文へ平安の大集落?
平-窯址1、住1、墓1	平(5)瓦塔(2)鐙口 1点	窯と工房址検出 瓦塔と鐙口は貴重
RM5、中-空堀1他	縄、弥、中-土器・石器	
不-縄文4	縄・平-土器・石器	
平-住1、堅穴8	縄・平- " " "	

昭和62年度 市町村別発掘調査遺跡一覧

別掲調査要覧(3~7頁)掲載以外を収録した。なお、○印は学術調査。〔 〕内はセンター調査。※印は2次にわたる調査。

飯山市 顔戸第5 須坂市 塩川

中野市 ○高梨氏城跡、浜津ヶ池、七瀬5号墳、栗林、
中畝1・2号墳

高山村 黒部、○湯倉洞窟 木島平村 稲荷境

長野市 檀田、宮崎(中条)、○大室古墳群(大室第224
号墳)

更埴市 大境

御代田町 広畑 白田町 原

佐久市 宮ノ上遺跡群湯ノ上遺跡、岩村田遺跡群菅田遺
跡、前田、長峰古墳群、梨ノ木、腰巻、西赤
座、西祢ぶた、蘇沢、批把坂、宮ノ上、曲尾
Ⅱ、円正坊遺跡群葛石、東赤座、下芝宮〔西
林、千草場、城ノ口、東祢ぶた、西祢ぶた、大
星尻古墳群、丸山古墳群、西大久保、腰巻、栗
毛坂、西赤座〕

小海町 ○中原 長門町 ○鷹山

松川村 岡海道 白馬村 屋敷

松本市 三間沢川左岸、鳥円、木下、〔北中〕

明科町 〔北村〕 三郷村 栗ノ木下

堀金村 田多井神沢、そり表他、田多井氏居館跡

麻績村 〔野口、古司、子尾入〕

開田村 ○小馬背

岡谷市 目切他2 下諏訪町 殿村、春宮境内

辰野町 窪畑、*樋口五反田、荒神社矢沢、荒神山おん
まわし、新町原田北、新町原田南、新町大原

伊那市 *殿島城跡、宮場間様十三塚

駒ヶ根市 反目南、古城、赤須、辻沢北

中川村 谷田

飯田市 恒川、○恒川(薬師垣外)

松川町 万代屋敷他4、寺屋敷

上郷町 日影林、*ツルサン、*大明神原、南口、釜ノ
口、ミカド、増田、垣外、丹保、平畑、柏原
C、橋爪、矢崎、*兼田、*一丁田、西浦、今
村、福島

阿南町 早稲田

No	遺 跡 名	所 在 地	期 間	目 的 因	主 体 者	担 当 者	調 査 の 概 要
							時 代
64	山ノ神	塩尻市大字片丘南熊井	62.10.3 10.15	農 道	市 教 委	鳥羽 嘉彦	縄
65	マツバリ	木曾郡日義村4021他	4.17 5.17	ほ 場	村 教 委	山下 生六	縄へ弥・平
66	巴 松	" 4898-37	10.28 11.28	公 園	"	"	縄
67	宮の原	" 2230-1 他	11.1 11.28	学 術	"	"	縄・中
68	上ノ原	岡谷市長池5502-3	3.9 4.26	住 宅	市 教 委	高林 重水	縄
69	まのまがいの 覆 垣外	" 2351-5	4.8 6.6	住 宅	"	会田 進	平
70	鮎沢大塚	" 川岸東3-9211-3	4.23 7.10	住 宅	"	"	縄
71	うま びかい 上 向	" 長池6217-4 他	5.14 7.10	住 宅	"	"	縄
72	広 畑	" 川岸1566番地イ	11.10 12.13	深 耕	"	長崎 元広	縄
73	ジャコッパラ	諏訪市大字四賀霧ヶ峰	6.22 8.15	道 場	"	宮坂 光昭	旧～縄
74	ごへいたいち 御幣 平 A	" 清水1-10-1 諏訪清陵高等学校	9.24 11.10	範囲確認	"	"	古
75	しな 科ノ木	" 大字上諏訪科ノ木	11.16 11.30	"	"	"	旧～縄
76	おん ぜん 恩 膳	諏訪郡原村ハツ手	6.17 7.6	分布調査	村 教 委	戸沢 充則	縄・平
70	恩膳西	"	7.27 7.30	確認調査	"	平手 一治	縄
78	利の木東	" 14355番地	8.6 8.13	土 地 改	"	"	縄
79	あきあきわ 関産沢	" 6658-2 番地	9.9 9.17	村 道	"	"	縄
80	恩膳西	" 7024他	10.13 10.20	確認調査	"	"	縄
81	しんだんがいら 新田 平	" 富士見町境字滝沢7288	7.1 12.10	宅 地	町 教 委	武藤 雄六 小林 公明	縄
82	今村東 清 水	上伊那郡辰野町今村105他	8.5 9.1	ほ 場	"	友野 良一 赤羽 義洋	縄・平
83	上ノ山	" 大字伊那富3644-2	11.9 12.30	学 校	"	"	縄・中
84	中 山	" 箕輪町大字中箕輪字1022-1	4.4 5.6	町 体 育 館	"	柴 登己夫	縄・平
85	源 波 源波古墳	上伊那郡箕輪町大字東箕輪字源波82	62.5.11 6.23	公 園	町 教 委	柴 登己夫	縄・古・平
86	堂 地	" 大字中箕輪11.115-1	8.19 9.18	道 路	"	"	縄・平
87	一之沢	" 大字東箕輪1847	9.22 10.29	土 捨 場	"	"	平
88	大原遺跡郡内 福原地籍	" 大字三日町1996-173他	11.11	遺跡確認	"	"	
89	奈良尾	伊那市大字富泉2654	8.1 8.13	ほ 場	市 教 委	飯塚 政美	近
90	宮の原	" 1294-2	8.19 9.1	ほ 場	"	"	縄・平
91	山ノ田	" 大字手良沢岡2240他	10.13 10.27	ほ 場	"	"	縄・平
92	古城南	駒ヶ根市中沢2901他	6.25 7.27	ほ 場	"	林 茂樹 気賀沢 進	縄へ弥・近
93	丸 山	飯田市丸山	6.3 12.25など	道 路	"	小林 正春	弥へ古・中
94	飯田城址	" 追手町	9.21 10.10	市 建 物	"	"	中へ近
95	田井座	" 罪一色	9.21 10.14	市 道	"	"	縄へ弥
96	下 原	" 下殿岡	12.8 12.27	工 場	"	"	縄へ弥

調 査 の 概 要		
主 な 遺 構	主 な 遺 物	所 見
	縄 (少)	
住一縄3、弥1、平1他	縄 (8) 弥 (1) 他	縄文では本曾最大の遺跡 弥生中期住居址も初見
	縄 (少)	
	縄 (少) 中 (少)	
縄一堅穴2	縄 (少)	
平一住2	平 (1) 砥石、釘など	遺跡両端、後背湿地の 接点で集落構成を知る 手がかり
縄中一住2、堅穴1	縄 (2)、石器10数点	扇状地中央の密度高い 集落市
縄中一住4、堅穴24	縄 (31) 石器100点土偶 1	遺跡の範囲再確認
縄中一住2、堅穴9	縄 (10) 石器60点	縄文中期中葉の代表的 遺跡
縄一陥し穴14 不立木、倒木痕120	旧・縄 (1) 縄炭化物 (1)	陥し穴底部より炭化物 多数検出
古一集石3	古 (1) 地 (1)	
縄早一溝1	旧、縄 (1) 縄 (1) 他	
縄中期一住、配石など	縄約6,600点他	縄文中～後の大集落確 認
	縄早 (少)	
	縄 (少)	
	縄 (少)	
	縄 (少)	小規模な縄文早・中期 散布地
建1、土墓5、小穴多	縄中	
	縄・平	
縄一炉2堅穴5 中一腰廓1	縄・中	
平一住5	縄 (2)、平 (7)	
縄中一炉1、円墳1 平一住2	縄 (3) 古 (6)	古墳副葬品多し
平一住5、建2	縄 (1)、平 (4)	
平一住7、土34、建1		
	近一土器片のみ	湿地帯
縄一住1、平一住1		
縄一住2、奈一白1	縄 (0.5)	
住一奈1、平1、縄一土 3	縄一弥、奈、平 (2)	
中一柱穴群6、建6など	中・近 (1)	
住一弥2、古6、他土64 溝7など	弥古・中 (22)	微高地上の弥生～古墳 時代集落
中一土40、堅穴20、堀2、 近一石組堅穴1、溝など	中～近 (20) 鉄器	本丸部門に関連する石 組貯水施設発見
住一縄5、弥3 弥一周墓2	縄一弥 (12)	縄文早・前期の数少な い資料
住一縄中12、弥後1 縄一土39	縄一弥 (35)	縄文中期大集落の一部

長野県史だより

考古資料編全1巻(4)

遺構・遺物の発刊

最後の長野県史考古資料編である全1巻(4) 遺構・遺物は、編纂の都合で遅れていましたが、いよいよ発刊の運びとなりました。

長い間ご協力いただきました市町村教育委員会・博物館等の関係機関ならびに長野県考古学会のみなさんへ心からお礼申し上げます。

さて、今回発刊される「遺構・遺物」は、県史考古資料編の総まとめでもあり、長野県の原始・古代史上で必要となる資料を、県内12000カ所の遺跡から厳選して“長野県考古学辞典”となるよう編集したものです。

体裁・内容はB5判1106頁で、口絵カラー8頁、本文334頁、資料図版751頁という大冊であり、構成は次の7大項目に編成されています。

- I 長野県の考古学史 V 信仰と葬制
- II 時代と編年 VI 原始・古代のモノの動き
- III 生産と生活の道具 VII 自然科学と考古学
- IV 住居と集落

このうち、石器や土器、その他の諸道具などの遺物と、住居や墓などの遺構といった考古資料をⅡ時代と編年、Ⅲ生産と生活の道具、Ⅳ住居と集落、Ⅴ信仰と葬制という4大項目にまとめ、時代を通して、それぞれの考古資料の変遷と特質を解説したものです。ここに収録した実測図、拓本、写真資料の点数は12942点で、『信濃史料』第1巻(下)の3591点の約4倍に相当します。

『信濃史料』当時に比較して、とくに充実した点は、土器や堅穴住居址などの実測された資料が飛躍的に増加し、なかでも東京国立博物館・宮内庁書陵部などの県外所蔵資料や古墳時代関係の墳丘実測、副葬品の実測作業が、県史独自の調査で実施され、はじめて紹介してきた点で、特筆に値します。

以上に加えて、I 長野県の考古学史では江戸時代から昭和61年までの考古学研究のあゆみを年表で示し、Ⅵ原始・古代のモノの動きは、資料の増加に伴って活発になってきたモノの運搬・流通の問題を分布図をもとに明らかにしました。さらに、Ⅶ自然科学と考古学では考古資料に対する理化学的分析研究の成果を紹介し、新しい考古学研究の側面を資料化しました。

すなわち、研究史を土台に『信濃史料』以後30年の考古学研究の成果を盛りこみ、さらに将来に向けて新しい考古学のあり方を展望した県史考古資料編ということがで

きます。

このような項目編成による試みは数ある県史考古資料編のなかでも、おそらく全国で初めてのことであり、単なる遺構・遺物の紹介にとどまらず、それぞれの項目を時代・時期や地域別にひけば、長野県の考古学辞典として十分役立つものと思います。

長野県埋蔵文化財センターからのお知らせ

○2冊目の発掘調査報告書として、吉田川西遺跡を除く塩尻市内19遺跡分を収録した「塩尻市Ⅰ」を刊行しました。1冊目の岡谷市に引きつづき、塩嶺山地寄りから鉢伏山麓にかけての、縄文時代から中世に及ぶ多様な内容が報告されています。

特に縄文時代では早期の押型文土器、その末葉から前期初頭にかかる条痕文系土器、前期の集石群、低地帯における中期中葉期集落、後期の敷石住居址と県内該種遺構との対比分析、5ヶ所一括土壌から出土した硬玉製垂飾品、弥生時代では東海系土器を伴う後期集落址と環濠らしい遺構や方形周溝墓、古墳時代では県内でも珍らしい土製模造鏡を含む供献用土器が出土した、山間地にみる祭祀関係遺跡などがあります。平安時代から中世にかけ

なお、頒価は送料共で7000円です。まだお申し込みをいただいてない方は、至急、下記の長野県史刊行会あてに官製ハガキでお申し込み下さい。

380 長野市稲葉八幡田沖県南俣庁舎内

(社)長野県史刊行会

TEL 0262 (26) 8008

でも集落址や墓墳に興味ある資料を紹介しています。A4版 本文530頁、図版118頁。

○「紀要Ⅰ」の発刊。報告書とともにセンターの柱ともなべき「紀要」が創刊されました。本県の考古学界にふさわしい「縄文中期特集」として若手調査研究員4名によるレポートです。B4版 横組み 75頁。

梨久保式土器 再考 三上 徹也

五領ヶ台式土器から勝坂式土器へ 寺内 隆夫

一型式変遷における一視点—

埋蔵と境界性について 百瀬 忠幸

研究ノート

凹石研究のために(1) —学史— 野村 一寿

報告書・紀要とも頒布については長野県考古学会が取扱っています(386 上田市染谷2117 川上 元方

TEL 0268-24-4936)。

埋文センター日記抄(昭和62年12月～63年3月)

〈(長)は長野、(佐)は佐久、(松)は松塩筑調査事務所〉

12月5日 腰巻遺跡調査終了(9日西大久保終了)(佐)

“ 8日 錦部小職員10名、山梨県博坂本美夫氏ほか1名来所(松)

“ 16日 京都市埋文研究所平尾・小森氏来所(松)

“ 17日 関越道関係4県連絡協議会(18日まで)(長野市)

“ 19日 北村遺跡調査会議(松)

“ 21日 上越線関係63年度調査計画打合せ会(佐)

“ 25日 北村遺跡調査終了(松)

“ 26日 “ 調整会議(松)栗毛坂遺跡B-b地区調査終了

1月11日 北村遺跡調査再開(長野よりも参加)(松)

“ 21日 長野市埋文センター小木曾所長ほか4名来所

“ 25日 北村遺跡出土人骨法要(松)26日独協医大へ(松)

“ 26日 長野県史古代集落研究会開催(佐)(27日まで)

“ 29日 横浜市埋文センター石井寛氏北村を視察(松)

“ 30日 栃木県文化振興事業団後藤氏はか来所(佐)

2月1日 62年度財政援助団体監査(長)

“ 2日 長野県遺跡調査指導委員会(於豊科町3日まで)

“ 10日 県教委松村教育次長来所後北村視察(松)

“ 15日 センター3事務所幹部会議(松)

“ 23日 上越線関係63年度調査計画打合せ会(佐)

“ 24日 佐久市教委・同センターと打合せ会(佐)

3月2日 県史古代集落研究会開催(松)(3日まで)

“ 3日 上越線開通遺跡出土品展(於佐久創造館 3月6日まで)(佐)

“ 5日 中央道長野線岡谷・松本間開通式(松)

“ 7日 国立歴史民俗学館岡谷康暢教授による古代～中世関係学習会(9日まで)(松)

“ 9日 広島埋文センター松井和幸氏来所(松)

“ 11日 北村遺跡調査終了(松)

“ 14日 長野市・更埴市教委との水田址調査学習会・篠ノ井地区調整会議(長)

“ 15日 篠ノ井塩崎地区地元関係者との協議会(長)

“ 16日 三重県文化課河北・宮田氏来所(松)(長)

“ 18日 北村遺跡調整会議(松)

“ 20日 「紀要Ⅰ」の発刊

“ 22日 更埴市地区調整会議(長)

“ 23日 広島埋文センター青山氏はか2名来所(松)

“ 24日 北村遺跡調整会議(松)

“ 25日 第14回理事会(長野市)・低湿地調査方法につき公団と協議・塩崎地区水利組合等との協議会(長)

“ 31日 塩崎地区中央道対策委員会との協議会(長)

「塩尻市Ⅰ」報告書刊行